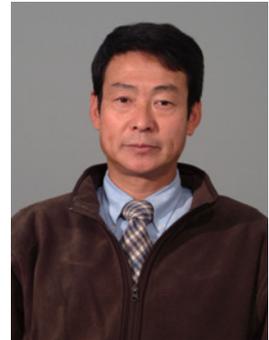


Blackboard@Tamagawa 活用事例

01 教育学部教育学科教授：金井 茂夫 先生

スポーツ教育におけるイメージ創りとしての活用

金井先生は、主として水泳指導法・健康観の多角的検討で精神と心の健康についてを研究テーマに、スポーツ科学だけでなく幅広い研究をされています。コア科目群の体育や生涯スポーツ演習をはじめ、専門教育の科目として、体育実技・体育科指導法・体育史・体育原理を、そして高度な専門性を養う科目群においては、教育学演習Ⅱ等を担当されています。教育学科では、時代の激しい変化や複雑さに対応できる柔軟性と高い問題意識で課題を解決する能力を備え、社会に貢献できる人材育成に深く関わる優れた教育者の養成を目指しています。今回は Blackboard@Tamagawa（以下 Bb）を動画を使う事前学習教材として有効活用されている事例を紹介いただきます。



教育はイメージ創り

スポーツ教育は空間的な拡がり、時間的なスピードの速さなどからイメージ創りが出来ると技術の習得も早くなり意欲の向上に繋がります。決められた授業時間の中では多くの種目は1回（時間）しか取り扱えません。その点で受講前のイメージ創りが特に大切となります。Bbは教育効果を上げるツールとして積極的に取り入れたいと考えています。



図1 体育祭動画教材

体育Ⅱ（全学1年生対象 1年生 1,933名）

この授業は体育祭のマスゲームを発表する為の集中授業です。はじめは体育館で男女に分かれて個人の動きから練習します。ひとつひとつの動きは、そんなに難しくはないのですが、音楽にあわせての動きが分かりにくいのです。また、約1,000名の集団の中で自分がどのような位置にいて、どのような風に見えるのかが全く分からないのです。その為、始めの頃は練習意欲を失いかけてしまいます。また、グループ練習が終わりグラウンドに出て本番同様の練習は併設学部との場所の競合や晴天時の陽射しによる疲労を考えてなるべく短時間に練習を進めたいと考えています。この時に前年度のビデオや前回の練習を載せることでBbは絶大な威力が期待できます。グラウンドという大空間で創られた絵模様の歪みや時間差が映像として確認できるからです。自分がギャラリーからとても美しく見えて演技終了後の盛大な拍手までイ

メッセージできれば満点です。

もうひとつ、体育の授業は天候にも左右されます。グラウンドの予定でも雨天時には場所の変更は付き物です。そのような時にも Bb は効果抜群です。各学部の男女あわせて 2,000 人が、その対象となりますので職員が出勤してからの掲示では間に合いません。朝の 6 時でも担当の教員が自宅から Bb にアクセスしてアナウンスをすれば、学生の方もその時点で分かるわけですから本当に便利です。

体育科指導法(教育学部選択科目 2 年生 78 名)

この授業は小学校の教員を目指す学生の為の科目です。小学校の体育授業では自分がその技術を出ることもよいですが、安全で効率的な指導法の習得が大切なのです。その指導法の習得にはやはりイメージが大切となります。水泳の「飛び込み」は危険と怖さが付き纏い、特に女子学生は怖がります。



図 2 水泳飛び込み動画教材

安全で痛くなく且つ短時間で習得できる指導法は事前に映像として見ていると、その技能習得効果が上がります。また、お互いが指導し合う演習よりも実際に低学年の児童が行っている場面を見ていた方が教育現場のイメージがしや

すくなります。また、これですと欠席した学生も見学した学生と殆ど同じ学習効果があります。

体育原理(教育学部選択科目 2 年生 29 名)

体育 I (コア科目 1 年生 218 名)

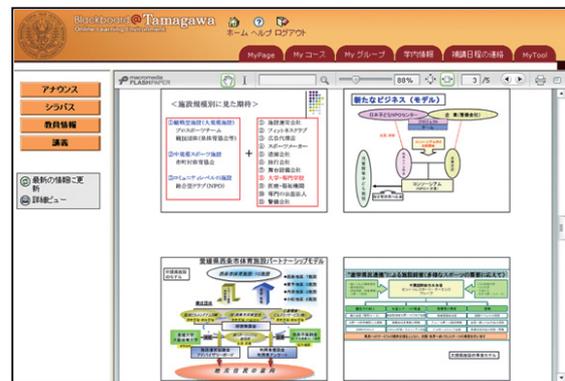


図 3 スライド教材

一般的にパワーポイントのスライドを授業後の復習として見直すことも可能ですが、重要なことは予習だと思うのです。授業前に Bb に掲載することで学生は授業内容をスライドから事前にイメージ化し、スライドを配布資料の状態ですべてプリントアウトして授業に臨むことです。このためには教員も講義前にスライドショーを作成しておかなくてはなりません。この双方の行為が授業内容と学習効果を高めることとなります。レジュメやレポート課題も載せておけば印刷の手間も省けて本当に便利なツールだと思います。

おわりに

このように Bb は確かに便利なツールではありますが課題も多くあります。資料写真のスキャナーによる取り込みはまだしも映像化するとなりますとわずか数秒の動画の作成でも PC の性能も含めてこれらを準備するために時間と IT スキルが必要だということです。教員は研究活動や講義内容の準備だけでも大変なので PC のマニュアル本などを読んでいる時間がないのが実状です。本格的な e ラーニングの推進にはメディア教育推進室や PC を得意とする学生の活用などの教員を支援する組織の構築・充実が不可欠だと思います。

eメール送信機能の有効活用

Bbコース内のeメール送信機能を利用して、授業関連の連絡が便利に行えます。

1. アナウンス内容をメールする

アナウンス掲載時に、掲載内容をeメールに送信することができます。送信対象はコース登録者全員となります。アナウンスの即時性、確実性を高めたい時に有効です。

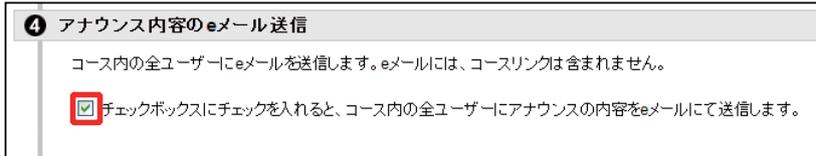


図1 アナウンス内容のeメール送信

2. 送信のためのメーリングリストとしての使用（一括、単一）

授業単位での受講者一括、または特定の学生に対してBbからのメール送信が可能となります。授業単位の簡易メーリングリストとして活用できます。コントロールパネルのコースツールエリア「eメールの送信」よりご利用ください。

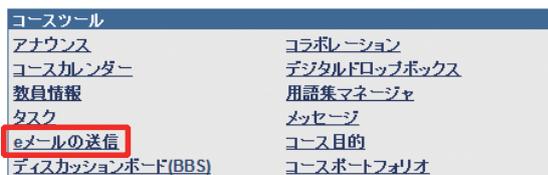


図2 コースツールからのeメールの送信

全員にメールを送信する場合
(教員・TA・学生)

学生のみメールを送信する場合

選択ユーザーのみメールを送信する場合



図3 単一/ユーザーの選択

一括送信の場合でも受信者には他のアドレスが表示されないBccにて送信されます。受信メールに対しての返信はできませんので、「連絡」ツールとしての色合いの濃い機能となっています。Bbにはメールの受信機能は搭載されておりませんので、受信はメールソフトをご利用ください。

- ◆ 玉川大学発行のアドレスに送信されます。
- ◆ Bbのeメール送信は文字の装飾（色・下線・太字など）を利用することはできません。
- ◆ 詳しくはWebマニュアルをご参照ください。

http://wm.tamagawa.ac.jp/manual/Bb/instructor/instructor_ja_JP/chapter02/02-20.htm

教職員メールサーバの暗号化対応について

教職員メールサーバにおきましてメール送受信の通信がSSL暗号化に対応いたしました。これにより、ユーザ認証を含むメールサーバとの通信の盗聴をより確実に防ぐことが出来るようになります。(メール送信においてメールの内容が暗号化されて受信者に届くということではありません。)

この機能は、お使いのメールソフトがSSL暗号化およびメール送信時のユーザ認証機能に対応している場合にのみ使用できます。

◆学外でのメールの送信について

自宅や外出先など(学外)からメールを送信する際には、「OP25B(Outbound Port25 Blocking) – 迷惑メールの送信手段であるSMTPに制限をすることで迷惑メールの送信を抑制する仕組み –」に対応する設定が必要となります。

「学外からメールが送信できなくなる。」などの症状が発生する場合には、メールソフトの設定を再度ご確認くださいませようお願いいたします。

◆各種メールソフト設定方法

Bb(<http://bb.tamagawa.ac.jp>)にアクセスし、「ITサポートデスク」のタブをクリックしてください。「メールソフトの設定」から、各種メールソフトの設定方法をご確認いただけます。

ご不明な点などございましたら、ITサポートデスク(内線8687)までお問い合わせください。

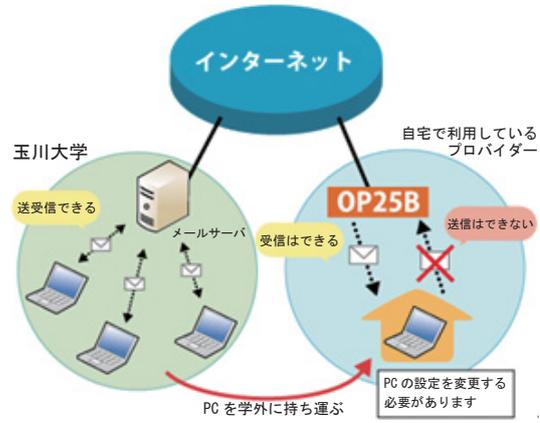


図1 OP25B(Outbound Port25 Blocking)とは



図2 ITサポートデスク



メールソフト設定
Webマニュアル



図3 メール設定方法

編集後記

今回は、「動画教材を使ったイメージ作り」の活用事例、Bbコース登録者へ一括で連絡ができる「eメール送信」機能のご紹介、教職員メールサーバの暗号化対応について、お知らせいたしました。Bbの動画活用について興味ございましたら、ぜひご相談ください。

また、平成21年度のMyPC推奨モデルがPanasonic Let's Note W8に決定いたしました。詳細につきましては、どうぞお問い合わせください。